

超基本! 初心者のための ラグビーガイド

ラグビーの基本

- 試合時間は前後半40分ずつ
- 1チーム15人
- ボールは楕円形



ポジションとその役割



◆FW(フォワード)

縁の下の力持ち。強靭な肉体でボールを奪取。



- ①③プロップ…重戦車
- ②フッカー…スクラムの要
- ④⑤ロック…チームいちの巨人
- ⑥⑦フランカー…タックルの鬼
- ⑧ナンバーイエイト…暴れん坊

◆BK(バックス)

ゲームを操り、スピードに防御を翻弄。



- ⑨スクラムハーフ…パスのスペシャリスト
- ⑩フライハーフ…司令塔
- ⑪⑫センタ…切り込み隊長
- ⑬⑭ウイング…誰にも追いつかれない俊足
- ⑮フルバッガ…最後の砦

得点

- 相手陣地の一番奥にボールを置く「トライ」…5点
- トライ直後のボーナスチャンス「コンバージョンゴール(ゴールキック)」…2点
- 相手側が反則をしたらチャンス「ペナルティゴール」…3点
- 相手側の反則がなければトライが成立したとレフリーが判断した「ペナルティトライ」…7点
- 攻撃中の「ドロップゴール」…3点



白鷗大学ラグビー部
キャプテン 山谷 直樹さん

そこで選手との相互理解に努めているそうです。

「フランカー」というポジションで

チームを支えるキャプテンの山谷直樹

さんは、「こんなに向き合ってくれる

監督は珍しいと思います。自分自身

を見つめ直す機会でもあり、課題や

悩みなど思っていることを直接伝え

られるのでとても助かっています」と

監督との面談は欠かせない時間になっ

ていること。コミュニケーション

を密にとりながら、選手個人の自主

性を尊重するのが白鷗大学ラグビー

部のモットーです。古庄監督は、「試

合では同じ局面が現れにくいので、常に考え続けて答えを探し、自分のプレーに責任を持つことが大切。フレー

ルドに立つ15人全員がリーダーになれ

るようなチームを目指しています」

と判断や行動を他人に委ねないこ

とが重要だと言います。

W杯開催で再注目 ラグビーの魅力を伝えたい

W杯開催で盛り上がる日本のラグビー界。ひと昔前だと高校でラグビーに出会う人がほとんどでしたが、近いところでは小学生や中学生のうちに始めるケースも増えています。

山谷キャプテンもその中のひとり。兄と父がラグビーをやられていて、その影響で小さい頃からラグビーを始めました。「自分より大きな選手に向かうときは正直怖いですが、相手を倒したときの満足感は他に代えられません。たとえ体格差があつても

戦術や技術で十分勝負できます」と胸を張ります。

「ラグビーは全力で走ってぶつかって

合う選手が大勢います。まずは地元

のチーム「白鷗大学ラグビー部」を応援してみませんか?

※タグラグビーとは、タックルをはじめとする身体の接触プレーを一切排除した、年齢や性別、経験に関わらず、誰でも安全に楽しむことができるボールゲームのこと。

古庄監督は「強化指定部」といって、人工芝の専用グラウンドやウェ

イトルームなど恵まれた環境を用意

していただいているため、その期待には応えなければならないと思っていま

す」と現在の思いを語りました。

関東大学ラグビー・フットボール連盟

2部に所属する白鷗大学ラグビー部

にとって、目標は1部昇格です。一昨

つ挙げるとすると、体育会系にありがちな上下関係の厳しさや細かいルールがほとんど存在しないことです。プレー中を除けば、誰が先輩で誰が後輩なのかわからないほど和やかムードに。部員数は総勢50名。部員の中にはニュージーランド、トンガ王国、フィジー共和国からの留学生もいて、練習の合間には笑みがこぼれ、明るい会話が飛び交います。

チークを率いるのは今年2月、監督に就任した古庄史和さん。現役時代は國學院大學板木高校、早稲田大学のラグビー部に所属、その後は母校の顧問やヘッドコーチなど指導者として活躍しています。選手として7年、指導者として今年で17年目という豊富なキャリアを活かし、選手たちを指導します。

古庄監督は「強化指定部」といって、人工芝の専用グラウンドやウェ

イトルームなど恵まれた環境を用意

していただいているため、その期待には応えなければならないと思っていま

す」と現在の思いを語りました。

関東大学ラグビー・フットボール連盟

2部に所属する白鷗大学ラグビー部

にとって、目標は1部昇格です。一昨

年で活躍してきました。

古庄監督は「最近ではW杯が開催されラグビーの話題が耳に入りやす

く、テレビや会場で試合を目にする

機会も多いはずです。ルールに詳しく

アチームが集う「タグラグビー大会」に参加するなど、子どもたちとの交流を通じてラグビーの普及に貢献。

「One for all, All for one」の精神は地域社会とのつながりにも活かされて

いる。

古庄監督は「最近ではW杯が開催されラグビーの話題が耳に入りやすくなる」と世界で戦う日本代表はもちろん、社会人、大学、高校、ジュニアと国内でもたくさんのラグビーチームが活躍中です。ラグビーというスポーツに魅了され、フィールドで魂と体をぶつけ

今後の試合予定

- 10月27日(日) 白鷗大学-国士館大学 11:00～拓殖大学グラウンド
- 11月3日(日・祝) 白鷗大学-朝鮮大学 12:00～立正大学グラウンド
- 11月17日(日) 立正大学-白鷗大学 14:00～拓殖大学グラウンド



白鷗大学
ラグビー部



ブログ



twitter



ホームページ

創部33年目の決意 新監督を迎えて戦いに挑む

年、昨年ともに2勝5敗の6位で昇格のチャンスを逃しましたが、今シーズンは勝てるイメージが明確にあります。練習試合の結果も好調とのこと。古庄監督の手腕と選手の活躍に注目します。



白鷗大学ラグビー部
監督 古庄 史和さん

選手の自主性を尊重 15人全員がリーダーに

やはりラグビーの魅力といえば、スクラムやタックルなど選手同士のぶつかり合いで。特にフォワードの選手が平均体重は約100キロということが、選手一人ひとりが、仲間以上。また広大なグラウンドを縦横に走り、高精度のパスやキックを繰り出しながら敵陣に切り込むというスピードで、間近で見るプレーの迫力は想像以上。

スピー

度のチャンスを逃しましたが、今シーズンは勝てるイメージが明確にあります。練習試合の結果も好調のこと。古庄監督の手腕と選手の活躍に注目します。

ス

ラグビーは全力で走ってぶつかって

合う選手が大勢います。まずは地元

のチーム「白鷗大学ラグビー部」を応援してみませんか?

※タグラグビーとは、タックルをはじめとする身体の接触プレーを一切排除した、年齢や性別、経験に関わらず、誰でも安全に楽しむことができるボールゲームのこと。

古庄監督は「強化指定部」といって、人工芝の専用グラウンドやウェ

イトルームなど恵まれた環境を用意

していただいているため、その期待には応えなければならないと思っていま

す」と現在の思いを語りました。

古庄監督は「最近ではW杯が開催されラグビーの話題が耳に入りやすくなる」と世界で戦う日本代表はもちろん、社会人、大学、高校、ジュニアと国内でもたくさんのラグビーチームが活躍中です。ラグビーというスポーツに魅了され、フィールドで魂と体をぶつけ

